

コレクションする？

故意にコレクションをしたわけではありません！

フランスワーズとベルナール・ゴチエ：

私たちは、コレクションをする意図はなく、単に作品が一つの集団(家族の一員のような)をなすような集合体を作りたかったのです。私たちは、パリ地域にある住居の空間を埋めつくさないようにと、一度にたくさんの作品を飾らずに、私たちの目が刺激を受けるようにと、周期的に作品を掛け変えています。

私たちが参考にする**20世紀の偉大なアーティスト**たちは、少なくとも私たちの羅針盤です：ロベール・モザーウェル、アントニ・タピエス、エドワード・チリダ、ピエール・タラコタ、ジャン・ドゴテックス、オレリ・ヌムール、ピエール・スラージュ、ジュゼット・レイグル、ジュリユス・ビシエ etc,,,,,

また同時にアーティストが生きた**時代や文化を超越**するような人たちの作品があります：

チュータ(1626-1705)北斎(1760-1849)、ターナー(1851)、マダレア洞窟の画家たち、「夜の闇」を創造したエトルリアのような無名作家、シクラディク像を推敲したギリシャ人たち、丸木舟の他に、ルーブル美術館にある水牛の皮で太鼓を創造したアフリカのグループたち、、、。

何が重要かといえば、**思考と行動のダイナミック**さです。

私たちが一つの作品を評価するのは、珍品とか作品の相場の可能性からではありません。

個人の空間に作品を迎え入れるのは、感動的な決意です。そのために私たち夫婦は、ほとんど暗黙の了解にあります。

私たちにとってアートは副次的でも、私たちの人生の装飾補足でもありません。アートは、視覚的作用の方法であり、敏捷で弛まないダイナミックさであり、弛まなく拡大する指針網です。

それは**情熱(道楽)**です。それは人を夢中にさせます。

私たちの選択は、構成のバランスに寄与するアジア的意味のある**無の空間**に、**確固たる制作姿勢**で描かれた**グラフィック**的作品です。

それらの作品には、識別できるイメージは何もなく、逸話もありません：一般に作品は、絵画的作品にむしろ害を与える具体性は何も表現していません。けれどもそれらの作品は、感覚や感動、記憶、私たちの内面の窓を開きます。

**黒と白のコントラスト**：コレクション「**ゴチエ&Co**」は、黒と白からなるとよく言われます。それは確かです。とゆうのも、私たちはたくさんの銅版画を持っているからです。銅版画家たちは、作業を簡単にし、また経済的にも安いので、黒のインクを使って彫ります。またこれらの色がもっとも効果的だからです。

確かに、黒を除いて多くの作品が灰色一青、黄土色、錆色、茶などの**一色**で制作されているのに気がつきます。自然色のそれらの色は控えめで、アート愛好家は、黒と白で描かれたこれらの作品をとかく好みます。

すぐに注意を引き、喚起力を持つ色彩で描かれたいくつかの作品は、私たちの環境の中で同じように私たちを魅了してやみません。

アートの世界には、無数の作品や豊かな制作意図があり、私たちは絶えずそれらを求めています。繊細な知覚、それだけではなく聡明さ、ユーモワ、なによりもアートの世界が支える社会的ヴィジョンから、いつでも感動を受けます。  
私たちの役目は、それぞれの作品が一同に**意味**を持つ作品を収集して、展示して多くの人に見せることかもしれません。

**選択するとは**、市民的行為で、人生を選択することです。同じように未来に対する賭けでもあります。  
私たちの選択は、作品の相場を期待した決定ではありません。

私たちの目的は、アーティストたちが創作を続けられ、彼らの独自性の追求を可能にし、それらが作品に具体化するのを支持することです。

**作品を所有するとは**、アーティストとある種のモラル的契約を実現することです。彼らの創作に付き添い、彼らの創作意図や進展を理解しようと努めることです。長い間に約300人のアーティストからなる約500点の作品を収集しました。人が考えるのとはまったく逆で、私たちは多額の経済力は持ち合わせていません（サラリーマンで、今は2人とも年金生活者で、その上複合家庭です）。私たちの人生に一つの選択をしたのです。私たちは、手に入れ安い紙を使った作品や版画が好きです。いつも毎月分散して支払う可能性を持っています。

**展示するとは**、私たちの人生に痕跡を残し、私たちの視覚的想像力の糧となった作品に生命を注ぎ、展示会に訪れたあらゆる階層の人たちと作品を共有することです。  
コレクション「**ゴチエ&Co**」の多くのアーティストは、彼らのモノグラフィイーを出版しています。またはグループ展のカタログに名前を連ねています：ピエレット・ブロク、ジェラルド・チチューカルメール、ル・コルビジエ、オリヴィエ・ドブレ、ジャン・エリオン、ゴドウイン・オフマン、アレキサンドル・オラン、ジョン・フランクリン・コーニング、ロベール・マラヴァル、タケサダ・マツタニ、アンドレ・マルフェン、マリオ・プラシノ、ミシエル・スフォー、、、。

他の作家達は、あまり目録に明記されていないが、それはむしろ世代の違いと言えます：ジャン・フランソワ・モデ、ジャンバチスタ・ブレシアニ、ジャンルイ・エスピリ、ローランス・ガーネソン、アラン・グロザット、ダニエル・ラコム、オリヴィエ・モリエット、エヴリン・オトリエ、クロード・パニエ、アンヌ・ポリュ、パスカル・ピロン、マルセル・ロブレン、セルジュ・ソニエール、オルフガング・セイエール、、、。

参考資料や、作品のインターネット紹介は、アーティストたちに自分たちの仕事を知る可能性を贈ることです。

これらのあらゆる意図は、私たちにアートの世界で能動的である可能性を与えてくれます。

ベルナール、フランソワ・ゴチエ

アーティストのリストをご覧ください。